

# 日臨技医療政策企画 病棟業務に必要な能力開発実践研修会

## ～臨床検査の活用に必要な後工程の集中能力向上トレーニング～

生涯教育研修制度 : 基礎教科 30 点

|     |   |  |  |
|-----|---|--|--|
| テーマ | 現場で求められる能力への具体的対応   |  |  |
| 目的  | 病棟で実施されている様々な場面を想定したシナリオを用意し、刻一刻と変わる状況下で状況判断をしながら、適切に実行できる現場に繋がる「経験」を補うことを目的としている。  |  |  |
| ご案内 | 現場で求められる能力に対応できる人材の育成のため、臨床の現場で必要となる具体的内容を総合的に研修し、習得してもらうことを目的としている。<br>本講習会は実技を主体とし、シミュレータを用いた少人数制で行なう。  |  |  |
| 会期  | 平成 30 年 2 月 11 日 (日)・12 日 (月・祝) 9 時 30 分 ～ 16 時 35 分  |  |  |
| 会場  | 医療研修施設「ニプロ i-MEP (アイメップ)」 TEL:077-564-0610  |  |  |
| 内容  | <p style="text-align: right;">内容・講師等について変更となる場合があります<br/>(敬称略)</p> <p><b>1 日目</b></p> <p>9:30～9:50 受付</p> <p>9:50～10:00 開講挨拶 <span style="float: right;">日臨技 副会長 横地 常広</span></p> <p>10:00～10:30 病棟業務に必要な法的知識 <span style="float: right;">日臨技 常務理事 丸田 秀夫</span></p> <p>10:30～11:00 安全な医療を提供するための具体的な取組に向けて<br/>～検査データの活用について～ <span style="float: right;">日臨技 執行理事 千葉 正志</span></p> <p style="text-align: center;">(休憩 10 分)</p> <p>11:10～12:40 <b>R-CPC</b> <span style="float: right;">信州大学医学部附属病院 中央検査部 菅野 光俊</span></p> <p>12:40～13:40 昼休み</p> <p>13:40～15:10 <b>実技訓練Ⅰ ～検査説明・相談②～</b><br/>R-CPC 結果を踏まえた実際の検査説明・相談模擬演習 <span style="float: right;">日臨技 理事 實原 正明</span></p> <p style="text-align: center;">(休憩 10 分)</p> <p>15:20～16:50 <b>実技訓練Ⅱ ～移乗介助～</b> ※事務局にて 3 グループに振り分け行ないます。<br/>(30 分) ストレッチャー ～患者対応・検査の説明も含めて～<br/>(30 分) 車イス ～患者対応・検査の説明も含めて～<br/>(30 分) ベッド搬送 ～患者対応・検査の説明も含めて～<br/><span style="float: right;">滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター 多川 晴美<br/>平岡 葉子<br/>小野 幸子</span></p> <p style="text-align: center;">(休憩 10 分)</p> <p>17:00～18:30 <b>ナイトセミナー ～夕食をとりながら～</b> ※集合写真撮影も行います<br/>企画Ⅰ より患者の寄り添うために ～日臨技医療政策企画の今後の方向性について～ <span style="float: right;">日臨技 政策調査部門 担当理事 深澤 恵治</span><br/>企画Ⅱ 中期目標実現のための 1 戦略法「業務量分析化メソッド」 <span style="float: right;">日臨技 代表副会長 横地 常広</span></p> <p><b>2 日目</b></p> <p>9:00～10:30 入院患者への輸血対応 ～説明・同意から副作用確認まで～<br/><span style="float: right;">滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター 多川 晴美</span><br/>(休憩 10 分)</p> |  |  |

|         |  |
|---------|--|
|         | <p>10：40～12：10 患者持参薬・治療薬の作用機序と検査値へ与える影響 ～入院患者を対象として～<br/>千葉大学病院 薬剤部 横山 威一郎</p> <p>12：10～13：00 昼休み</p> <p>13：00～13：30 危険の察知 ～ABCアプローチと生命維持<br/>(株)ファルコバイオシステムズ(草津総合病院ラボラトリー) 福田 篤久(認定救急検査技師)</p> <p>13：30～16：15 <b>実技訓練Ⅲ</b> ※事務局にて2グループに振り分け行います。<br/>(75分)患者シミュレータを用いた患者急変対応訓練<br/>国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 藪 圭介(認定救急検査技師)<br/>滋賀医科大学医学部附属病院 看護臨床教育センター 多川 晴美<br/>(75分)患者シミュレータを用いたBLS実技訓練<br/>和泉市立病院 榎引 健一(認定救急検査技師)<br/>大阪府三島救命救急センター 濱田 宏輝(認定救急検査技師)<br/>(休憩 ローテーション時適宜取得)</p> <p>16：15～16：35 閉講式</p> |
| 募集人員    | 最大 51 名  |
| 募集対象    | 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員  |
| 受講料     | 12,000 円 (ナイトセミナー代を含む)   |
| 申込締切    | 平成 30 年 2 月 4 日 (日) ※参加費振込締切 平成 30 年 2 月 7 日 (水)   |
| 申込要領    | *WEB からの事前受付 会員専用ページ ⇒ 生涯教育 ⇒ 行事検索 ⇒ 日臨技または支部 講習会を選択 ⇒ 事前登録  |
| 申込先     | 〒143-0016 東京都大田区大森北 4 丁目 10 番 7 号<br>一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 事務局 電話 03-5767-5541   |
| キャンセル待ち | 申込み枠を超えた場合、キャンセル待ちを受け付けます。申し込みは電話 03-5767-5541 へ直接ご連絡をお願い致します。受講可能者には 2 月 7 日 (水) までに事務局よりご連絡をいたします。   |
| 持参備品    | 講習は常に白衣で行います。更衣室を用意しておりますので、<br>自施設で使用している <u>白衣(ケーシー等)一式をご持参ください。</u>   |
| 宿泊      | 事前予約制で 2 月 10 日 (土) 11 日 (日) の受講者人数分確保してあります。<br>利用には別途申し込みが必要です。平成 30 年 2 月 4 日 (日) までに下記 FAX をお願いします。  |
| 主催      | 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会   |

宿泊の申し込みは、以下へお送りください。(事務局 政策調査課 : 板橋)

**FAX : 03-3768-6722**

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 受付番号/お名前 | 受付番号： / お名前：                       |
| 日中の連絡先   | TEL： E-mail：                       |
| 宿泊の条件    | <b>宿泊部屋は全室禁煙となります。 / 朝食は、必要・不要</b> |

※宿泊費のご清算はチェックイン時となります。

※3 日前からの変更・キャンセルのお問合せは、アーバンホテル (TEL : 077-561-0606) をお願いします。

尚、宿泊キャンセルは前日より 20%がかかりますのでご注意くださいようお願い申し上げます。

